

2026年5月1日～14日 登山関連ニュースレポート

本レポートは、2026年5月1日から14日までの期間に発生した登山関連のニュースを収集し、登山者の皆様にとって特に重要度の高い情報を厳選してまとめたものです。入山規制、遭難事故、火山活動、登山道規制、クマの出没といった項目に焦点を当て、安全な登山活動の一助となるよう、専門的な視点から分析・整理いたしました。

ニュースサマリー

重要度	項目	内容・影響
高	火山活動・入山規制	雌阿寒岳（北海道） ：5月10日頃から火山性地震が急増し、5月14日には24時間で232回を記録。噴火警戒レベルが現在の「2（火口周辺規制）」から「3（入山規制）」に引き上げられる可能性が高まっています。登山を計画している場合は最新の火山情報を確認し、警戒レベル3に引き上げられた場合は入山を控えてください。
高	火山活動・入山規制	桜島（鹿児島県） ：噴火警戒レベル3（入山規制）が継続しており、5月8日～11日の期間も大きな噴石の飛散が確認されています。入山は厳に控えてください。
高	遭難事故・気象	北アルプス・奥穂高岳 ：5月3日にジャンダルム付近で発生した遭難事故では、悪天候が原因で1名が凍死、1名が凍傷を負いました。この時期の北アルプスは依然として冬山装備と経験が必要であり、悪天候時の無理な行動は避けるべきです。
高	遭難事故・入山規制	富士山（閉山中） ：閉山中の富士山で滑落事故が発生しています。5月3日には富士宮ルート9合目付近で中国籍の男性が滑落し軽傷を負いました。冬季閉鎖中の登山道は非常に危険であり、警察も入山を控えるよう呼びかけています。
高	登山道規制・崩落	羅臼岳・硫黄山（北海道） ：2025年8月のヒグマ人身事故を受け、羅臼岳および硫黄山の登山口、羅臼湖歩道の閉鎖が継続されています。解除予定は2026年7月5日（日）であり、7月4日までは入山できません。

重要度	項目	内容・影響
高	登山道規制・崩落	東海自然歩道（神奈川・山梨県境） ：5月9日更新情報として、大柵ノ頭～高指山区間で崩落が発生し、当面の間通行止めとなっています。迂回路の確認が必要です。
高	登山道規制・崩落	林道蕎麦粒線（埼玉県） ：5月5日に土砂崩れが発生し、全面通行止めとなっています。周辺の登山道への影響も考慮し、迂回または計画変更を検討してください。
高	登山道規制・崩落	伊吹山（滋賀・岐阜県境） ：登山道崩落による通行止めが継続中です（表登山道、上平寺ルート共に）。入山はできません。
中	クマ出没情報	北海道全域 ：春の活動期に入り、クマの目撃・遭遇情報が急増しています。特に知床エリアではヒグマ対策のため羅臼岳・硫黄山の閉鎖が継続されており、青森県黒石市や旭川市・千歳市でも目撃情報が相次いでいます。入山時はクマ鈴や忌避スプレーの携行、複数人での行動、早朝・夕方の行動を避けるなど、十分な対策を講じてください。
中	気象	全国的な荒天 ：5月3日～4日には全国的に雨風が強まり、九州～東海では警報級の大雨となりました。また、5月14日も東北南部～東海を中心に大気の状態が不安定で、ゲリラ豪雨や発雷の恐れがあります。急な天候悪化に注意し、最新の気象情報を確認してください。
中	遭難事故	北アルプス・赤岳（硫黄尾根） ：5月6日に2人パーティの女性が雪で足を滑らせ滑落する事故が発生しました。残雪期の山では滑落の危険性が高く、アイゼン・ピッケルなどの冬山装備と技術が必要です。
中	遭難事故	北アルプス・爺ヶ岳 ：5月11日頃、残雪により道に迷い救助される事故が発生しました。残雪期はルートが不明瞭になりやすく、地図・GPSの準備と読図能力が不可欠です。
中	登山道規制・崩落	林道一の沢線（長野県・常念岳アクセス） ：令和6年の大雨による道路崩落で通行止めが継続しており、5月GW明けから復旧工事が本格化します。常念岳へのアクセスに影響があります。
中	登山道規制・崩落	矢祭山（福島県） ：5月2日に落石のため登山道が緊急通行止めとなりました。落石の危険がある場所には近づかないでください。

重要度	項目	内容・影響
低	気象・積雪	標高 1300m 以上での降雪：5月5日頃、美ヶ原など標高 1300m 以上の山域で降雪・積雪が観測されました。春山でも高所では冬のような気象条件となることがあるため、防寒対策を怠らないでください。
低	登山道規制・解除	冬季閉鎖解除：R342 の夜間通行止めが 5月8日に解除され、一ノ倉沢道路も 5月22日に冬季閉鎖解除予定です。一方で、大河原峠までの車道は 6月中旬まで冬季通行止めが継続されます。アクセス道路の状況を事前に確認してください。

登山者へのアドバイス

2026年5月上旬は、全国的に火山活動の活発化、残雪期特有の遭難事故、そして局地的な悪天候やクマの出没など、登山活動に影響を及ぼす様々な事象が報告されました。特に、入山規制が敷かれている火山や登山道、閉鎖中の山域への入山は絶対に避けてください。遭難事故の多くは、悪天候や残雪によるルートミス、滑落が原因となっています。この時期の山は、春の陽気と冬の厳しさが混在しており、十分な知識と装備、そして慎重な判断が求められます。

以下の点に留意し、安全な登山を心がけてください。

- **最新情報の確認**：出発前には必ず、目的地の火山情報、気象情報、登山道の開閉状況、クマの出没情報を確認してください。特に、火山活動や登山道規制は急に変更される可能性があります。
- **適切な装備と計画**：残雪期や高山では、アイゼン、ピッケル、防寒具などの冬山装備が依然として必要です。また、地図と GPS を携行し、ルートを正確に把握できる準備をしてください。無理のない登山計画を立て、単独行動は避け、経験者との同行を推奨します。
- **悪天候時の判断**：急な天候悪化が予想される場合は、計画の変更や中止をためらわないでください。特に雷雨や強風、降雪時には、速やかに安全な場所へ避難するか、下山を検討してください。

- **クマ対策**：クマの活動が活発な時期です。クマ鈴や忌避スプレーを携行し、食料の管理を徹底してください。単独行動を避け、クマの生息域では特に注意を払いましょう。
- **登山届の提出**：万が一の事故に備え、必ず登山届を提出してください。家族や友人にも登山計画を共有し、下山予定時刻を伝えておくことも重要です。

安全な登山は、事前の準備と情報収集から始まります。皆様の安全な登山活動を心よりお祈り申し上げます。